

試聴会・訪問記掲載

河口無線カートリッジ試聴報告 (2017.8.13)

河口無線始めいろいろなところの試聴会でMy Sonicのカートリッジを聴く機会があり、一度じっくり聴いてみたいと思いましたので、河口無線の夏のオーディオ三昧に合わせ、時間をずらせて聴かせていただくことにしました。せっかくの機会ですので、オーディオ仲間のM氏、O氏、Mt.T2氏もお誘いしました。

2017年8月13日【3Fハイファイデリティ試聴室】

時間:AM11:00~PM0:00

【3Fハイファイデリティ試聴室】

<使用機材>

カートリッジ:

My Sonic Eminent GL

My Sonic Hyper Eminent

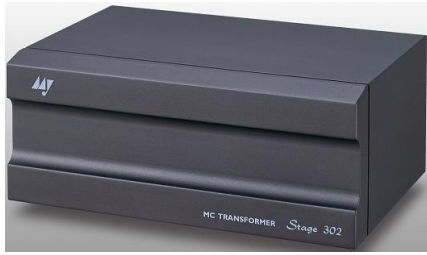
My Sonic Ultra Eminent Bc



Benzmicro ACE-L(M氏持参品)

トランス:

My Sonic Stage 302



フォノイコライザー：

Lux EQ-500

プレイヤー：

Lux PD-171A

プリアンプ：

ヴィオラ カデンツァ

パワーアンプ

ヴィオラ シンフォニー

スピーカー：

B&W 802D3



当日のセッティング

<試聴の経過>



M氏持参アナログ盤



EQ-500 と Mt.T2 氏持参アナログ盤

まず、カートリッジを **Eminent GL** にして M 氏持参のアナログ盤を聴くことにしました。フリッツ・ライナー指揮シカゴの展覧会の絵、リヒテルのベートーヴェンのピアノソナタ 12 番、シェリングのウイーン奇想曲を順次かけていきましたが、鮮烈で解像度の良い音です。展覧会の絵に戻して、カートリッジを **Hyper Eminent** に替えますと一段とディテールの再現がアップし、さらに **Ultra Eminent Bc** に替えますと、音の品位があがると同時に迫力も出てきます。ここまでくると、音のバランス、リヒテルの引く NY スタンウェイ始め、楽器の質感など申し分ありません。

次に Mt.T2 氏持参の盤を数枚聴いていきましたが、ジャンルを超えて品位のある音が聴けました。ケルンコンサートはベーゼンドルファーらしい音がしますし、女性ボーカルや Jazz の **Direct Cutting** 盤など、楽器の質感も十分で、**Direct Cutting** 盤は非常に鮮度の高い音を引き出してくれます。

ここでカートリッジを M 氏持参の **Benzmicro ACE-L** に替えますと、リヒテルのピアノなどは丹念にチューニングを施した M 氏邸の音になります。展覧会の絵を聴いておいてアモルメット **NS285** をトランスからの引き出しケーブルのフォノイコの入力端子付近に装着しますと、その効果は、**My Sonic** の音に近づいたようなバランスになります。

以上、**My Sonic** のカートリッジはいずれもバランスの良いニュートラルな音で、音楽ジャンルを問わず、高品位の音を聴かせてくれますが、やはり価格が上昇するにつれ

表現能力と品位が上がってくるのが分かりました。おそらくトランスとのマッチングもそれに寄与していると思われます。また、このようなハイグレードのシステムでもアモルメットの効果が現れることが分かったことも収穫です。何とか、このようなシステムを入手したいという思いが強くなりました。

以上